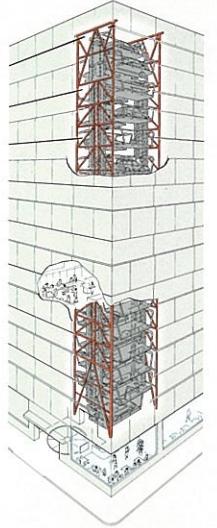
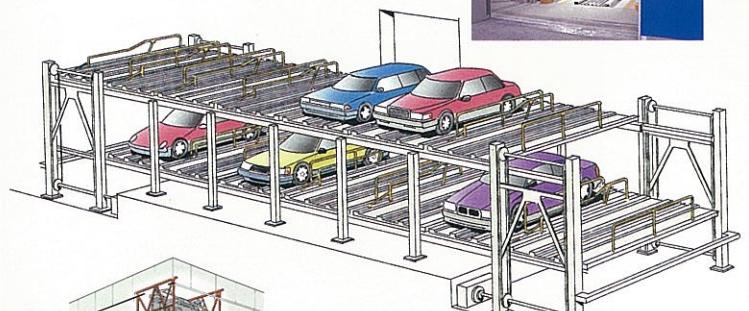


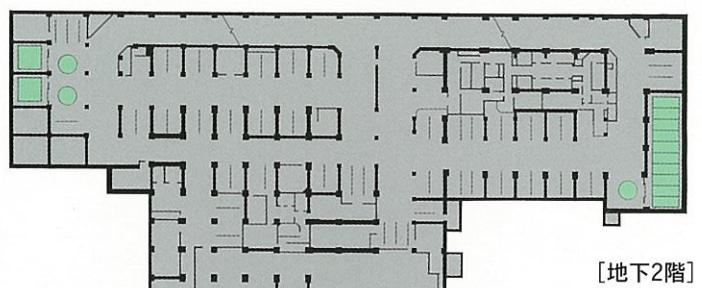
ARRANGEMENT

■建築概要／建築規模：(住宅棟)地上26階 地下3階(事務所棟)地上19階 塔屋1階／建築面積：3,955.205m²／延べ床面積：64,059.166m²
／設計監理：(株)石本建築事務所(株)アル・アイ・エー(株)久米設計 設計共同企業体／施工：戸田建設(株)三井建設(株)建設共同企業体

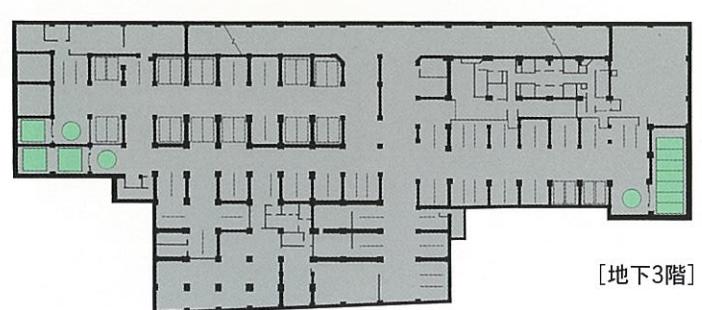
●ニッセイ・SPパーク
型式：SPS3-26
：SPS3-17
収容台数：計43台



●ニッセイ・MGパーキング
型式：MGYSB-14L
：MGYSB-15
：MGUS3B-12
収容台数：計41台



[地下2階]



[地下3階]

●立体駐車設備導入事例●

中野四丁目東地区・再開発事業

なかのサンクオーレ

サンプラザやブロードウェイなど、商業施設が集積し、若者が数多く集まるJR中野駅北側の“第一種市街地再開発事業”により誕生した「なかのサンクオーレ」。1973年から地権者数92人の全員同意をめざしてスタートしたこの再開発は、土地の高度利用を図るため、地上部分を2棟の高層ビルとし、さらに公園空地の確保、道路の拡幅整備、歩道のカラーバリエーションなど、意と努力によって今日の完成をみています。

なかのサンクオーレは、本社ビルとして地下1階から地上19階までの「事務所棟」と、地下1階から3階までの低層をキーテナントの大手ストアや地権者の店舗・事務所、4階から26階までの高層を144戸の集合住宅で占める「住宅・店舗棟」とで構成されます。この144戸の住宅は地権者の権利持分や要望に応じた個別設計で、4階には住居専用の屋上庭園も整備しました。

駐車場は、居住者、事務所、テナント、来客などの使用形態を充分に考慮し、27台収容のキヤバシティを確保。商業ゾーンは垂直循環方式、事務所ゾーンは多層循環方式、住宅用には2段式の機械式駐車設備を採用しています。メカカルの信頼性に加え、多彩な機種の実績も重要な選択肢と考え、日精を選びました。

また、本社ビル、地権者オフィス、店舗、大手ストア、住宅、といった異なる機能が集約するビルのため、駐車場の運用管理の面でも弹力的な活用をめざしています。

■建築概要／建築規模：地上35階(高さ約170m)地下3階／建築面積：約4700m²／延べ床面積：約67000m²／設計監理：(株)日建設計／施工：大成建設(株)鹿島建設(株)戸田建設(株)ジェイティ不動産(株)建設共同企業体

●ニッセイ・レベルパーク
型式：LPLS3C-20FDTX 2基
収容台数：計120台



●立体駐車設備導入事例●

アメリカ大使館のそばに完成

港区・虎ノ門 JTビル

すべての人にいきいきとした時間を届ける“という施工主・日本たばこ産業株式会社の企業ポリシーを具現化するべく、平成7年3月、中央官庁街に隣接したオフィス街区・虎ノ門2丁目に、新たな付加価値を備えた進化型のインテリジェントビル「JTビル」を竣工させました。

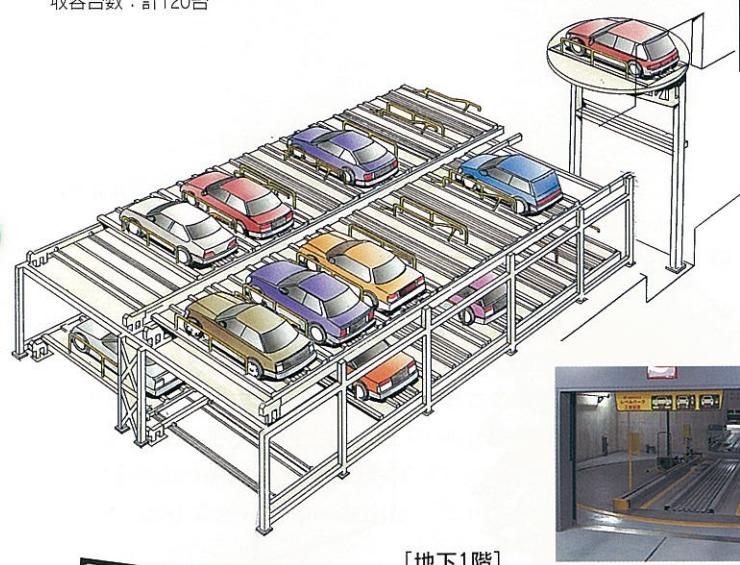
このJTビルは、街の景観ともバランスよ

く調和するよう設計された超高層ビルで、地上35階(高さ170m)地下3階、延べ床面積は67000m²。シルバーメタリックのスレンダーボディで、スラリと伸びた美しいシルエットが印象的な外観を呈しています。虎ノ門地区のランドマークとしてふわわり存在感にあふれ、ビル最上部のヘリポートも印象的です。

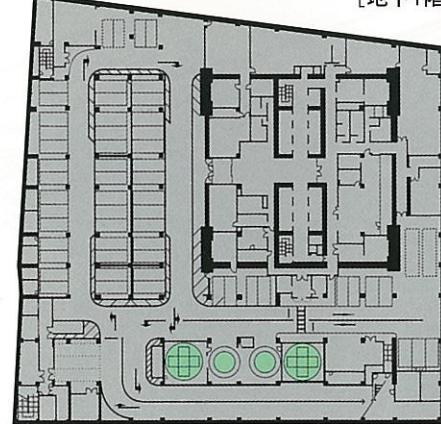
ビル内は、テレコミュニケーション、オフィスオートメーション、ビルディングオートメーションの三大インテリジェント機能を満載。高機能を誇るJTオフィスゾーンやテナントオフィスゾーンをはじめ、緑と光と水が織りなすオアシスゾーンほか多様なアメニティー空間を配し、ホール、アトリウム、店舗スペースなどを備えています。

機械駐車は、空間効率に優れた水平循環方式(3層式)2基を管理しやすいように入口を対面にレイアウト。ターンテーブル内蔵リフト採用により前進のまま入出庫が可能で、ドライバーに優しい設計となっています。また、操作パネルは定期利用の車両と一般来客車両の操作方式の切り替えもセレクターで簡単に行えるシステムとし、駐車場操作員の負担も軽減させました。

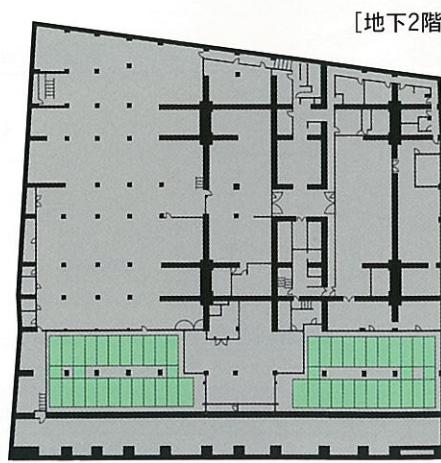
最新の自動券売機、清算ゲートにより毎日のビジネスシーンを強力迅速にサポート。駐車スペースを充分に取ることで、近隣への迷惑の問題も解決しています。



[地下1階]



[地下2階]



●220台収容の最新式駐車場
徒歩4分の地下鉄銀座線「虎ノ門」駅をはじめ、千代田線「霞ヶ関」駅、地下鉄とJR

が利用できる「新橋」駅と、利便性の高いロケーションに建つJTビルですが、一方で外堀通りに隣接。車による交通アクセスの高い利用頻度についても配慮し、機械式120台(水平循環方式1基60台収容×2基)、自走駐車スペース63台、計183台収容の駐車場を完備しました。

機械駐車は、空間効率に優れた水平循環方式(3層式)2基を管理しやすいように入口を対面にレイアウト。ターンテーブル内蔵リフト採用により前進のまま入出庫が可能で、ドライバーに優しい設計となっています。また、操作パネルは定期利用の車両と一般来客車両の操作方式の切り替えもセレクターで簡単に行えるシステムとし、駐車場操